

地域おこし協力隊は、都市圏から人口減少や高齢化等の進行が著しい地域に移住して、任期中の1年～3年の間、地域課題の解決につながるような「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。

下川町はこの制度を活用し、全部で13名を地域おこし協力隊に任命しており、起業・農業・鳥獣対策・共育・宅配等、それぞれの分野で活躍しています。これまで『ベアーズレター』として起業型地域おこし協力隊「シモカワベアーズ」の活動をお届けしていましたが、地域おこし協力隊の活動をお伝えすべく、『しもかわ協力隊通信』にパワーアップします。

● フルーツマトの研修中！！

令和4年4月より下川町でフルーツマトでの新規就農を目指し、埼玉県より家族で移住してきました。初めての冬を越えて、中学生と小学生の子供達も少しだけたくましくなったような気がします。

2年目の研修圃場は上名寄・川向です。除雪やハウス準備に始まり、共同施設での育苗～定植、ハウスでの栽培管理と日々、研修に励んでいます。6月からは待ちに待った収穫が始まりました。ほんのり赤くなったトマトにハサミを入れて果房を手にした瞬間は、なんとも言えない嬉しさがありました。引き続き、先輩農家さんたちから多くのことを学んでいきたいと思っています。



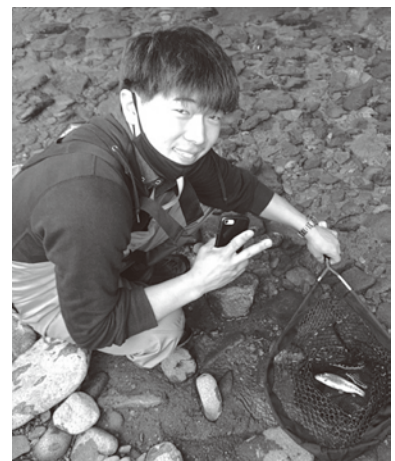
農業支援員 鬼頭俊一さん・めぐみさん

● はじめまして！

鳥獣対策支援員として令和5年2月から役場でお仕事させていただいております、澁谷麻斗(しぶや あさと)と申します。出身は高知県日高村というミニトマトが有名な小さな村です。

仕事内容はヒグマ、エゾシカ、アライグマ、キツネなど野生動物の管理や被害対策の推進になります。私自身まだまだ経験不足で未熟者のため、猟友会の人々をはじめとして、地域の皆様のお力をお借りしながら、日々勉強させていただいております。

今後とも、皆さまから多くのことを学び、町の発展に貢献できるよう、努めてまいりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。



鳥獣対策支援員 澁谷麻斗さん